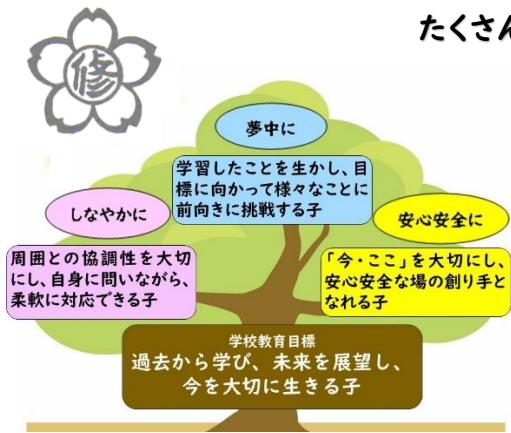


たくさんの「笑顔」「夢」「ありがとう」が集まる学校



令和7年 10月28日
京都市立修学院小学校
校長 鎌田 賢二

校長室だより「こころ」NO.38

日常の風景から心を育む

22日には、不安定な天候ではありましたが無事運動会を進めることができました。そのような天候ではありますが、たくさんの保護者、地域の方にご参観いただき温かい応援や拍手をいただいたことで、活気溢れる時間を共有することができました。また、子どもたちへのメッセージを記入いただいたものは学校全体の宝物です。本当にありがとうございました。当日は私から子どもたちへ声にして届けたいことは山ほどありましたが、気温や天候により断念いたしました。「走る・跳ぶ・投げる・応援する」その一つ一つが子どもたちの成長がさらに促進されたのではないかと感じました。運動会への不安を抱えたまま登校した子や楽しみにしていた子、様々な気持ちを抱えていたと思いますが、本番での一人一人の生き生きとした表情を見ていると本当に素敵で修学院の子どもたちが大好きになりました。（思わずこの一言だけは発信してしまいましたが…）運動を通して心を育むとても素敵な日となりました。

さて、「心を育む」というつながりでご紹介したいことがあります。すでに保護者の方はご存じのことと思いますが、PTAイベントの一環で「写ララ +1」と言って、修学院学区の美しい風景や、ふとした瞬間に心が動かされるような景色を写真に収め、インスタグラムで共有する写真コンテストを行っています。（12月末まで）この取組で私自身が感じる大きな意義は、単に写真を撮ることにとどまらず、子どもたちが「見る力」「感じる力」「表現する力」を育むことだと考えています。日常の中にある何気ない風景に目を向けることは、心のゆとりや感受性を育てる第一歩です。自然の美しさや地域の温かさに気づき、それを誰かと共有する体験は、子どもたちの心を豊かにし、人とのつながりや地域への愛着を深めてくれます。（実際に子どもたちに季節感のある写真や草花を見せていくことで学力が向上した話も聞いたことがあります。ゆったりとした中で引き出されたのかもしれませんね。）また、SNSという現代的なツールを活用することで、子どもたちや保護者、地域の方々が互いの視点を知り合い、共感し合う場が生まれます。これは、単なる作品発表の場ではなく、「心の交流の場」としての意味も持っています。（これが情報モラルの良い影響です。）このような活動をPTAの皆様が進めてくださることは、学校と地域が一体となって子どもたちの心の成長を支え、豊かな心を醸成する、非常に意義深いことです。秋の澄んだ空気の中で、修学院の魅力を再発見しながら、風景の写真を通して子どもたちの豊かな心を育んでいきませんか。修学院学区の地域の方々の参加もしていただけますので是非とも校内のご案内をご覧いただきご参加いただけたらと思います。



修学院学区にどんな素敵な景色がありますか？